

子どもがゲームに夢中です。 遊ばせていいものか迷います。

夏休みを迎えると、こうしたことに悩まされる親御さんも増えてく
ると思います。ゲームとどのようにして付き合うのがベストなの
か、子育てのプロ 徳田先生に伺ってみました。



ルールを決めてゲームをすることで、
決まりを守れる子どもに。

たとえば、「ゲームの時間は1日40分。
時間の前借りはできないけれど、貯め
ることはできる」などのルールを作り、
ゲームノートに時間の収支を書かせ
てください。そして、ルールを守れた
日はほめてあげたり、カレンダーに花
丸をつけてあげましょう。1週間守れ
たらボーナスが加算されるなど、ごほ
うびをつくると励みになります。この
ようにゲームと付き合うことで、子ど
もは決まりを守ることを覚えていき
ます。

「ゲームをしていると成績が伸びない」
はウソだった!?

ゲームをする子は成績が伸びない
というイメージがありますが、そんな
ことはありません。以前行った研究で
は、偏差値が高い高校の生徒のほと
んどが子どもの頃からゲームをして
いました。時間を決めてゲームを楽
しむことで、時間をコントロールする
力が身につきます。そして、勉強時間
もきちんと確保できるようになるの
です。

ゲームは、決まりを学べる
いい教材です。上手に取り
入れるとよいでしょう。



徳田先生監修“子育て・育児支援サイト”もチェック!

子育てに役立つ情報が盛りだくさん。
パソコンやスマートフォンで気軽にご覧いただけます。

パソコン・スマホでアクセス!!

キッズハグ

検索

<http://kidshug.jp>



徳田克己 先生

筑波大学医学医療系教授、教育学博士、臨床心理士。専門は子ども支援学、子育て支援学、気になる子どもの保育。アジア子ども支援学会会長、イオン1パーセントクラブ理事。「筑波大学発ベンチャー子ども支援研究所」の所長として、幼稚園や保育園の先生たちのコンサルタントとしても活躍。年間100件以上の講演を各地でおこなひ、育児に悩む方からの相談に応じている。著書に『親を感わず専門家の言葉』、『お母さんがうなずいた数だけ子どもは伸びる』、『育児の教科書「クレヨンしんちゃん」』など。

徳田先生の
Q&Aコーナーや
掲示板も!